



Working with EOS C100 and AJA

キヤノンのスーパー35mm相当単版CMOS イメージセンサーを搭載した EOS C100は、有効画素数約829万画素のフルピクセルのHD収録に対応し、記録メディアにSDカードを採用した高画質なHDビデオカメラです。映像エンジンには「DIGIC DV III」を搭載し、中心解像度1000TV本を実現しています。また、ローリングシャッターひずみを大幅に抑え、低ノイズで鮮明な色再現、豊かな階調性を実現しました。

EOS C100とKi Pro Rack / Ki Pro Miniを使用したワークフロー

EOS C100は撮影時に、本体内のSDカードにMXFファイル方式で収録すると同時にHDMI出力を用いたモニタリングや外部レコーダーへの収録が可能です。しかし、このHDMI出力からは60iの映像信号が出力されるため、本体内のフレームレートを24Pに設定した場合、本体内とHDMI出力のフレームレートが異なります。この問題は、一般的な外部レコーダーを使用した収録に大きな影響を与えます。しかし、カメラ側の適切な設定と高い機能を持つ外部レコーダーを使用することで、この問題は回避することができます。その機能を持つ外部レコーダーの一つがAJA Ki Pro Rack、またはKi Pro Miniです。

本ドキュメントでは、EOS C100とKi Pro Rack / Ki Pro Miniを使用して収録する際の各種設定を、24Pでの収録を例にご紹介します。操作手順については以下の方法をご参照ください。

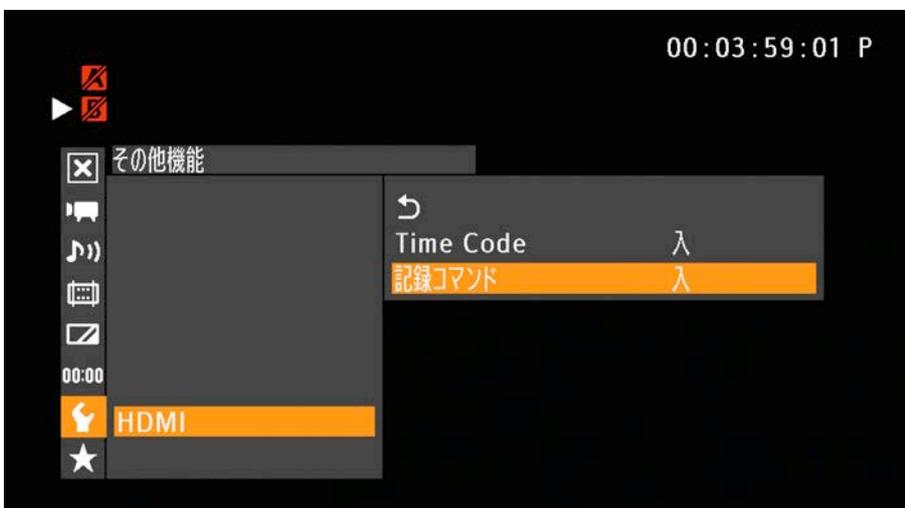
注：Ki Pro Rack / Ki Pro Miniは、ファームウェア ver4.1以降で作業を行ってください。

注：以下の手順は、必ずHDMI未接続の状態で行ってください。HDMIケーブルが接続された状態で設定しようとした場合、正常な設定を行うことができません。

EOS C100 の設定

HDMI記録コマンドの設定

本体のMENUボタンを押して「その他機能：HDMI」の「Time Code」、「記録コマンド」を選択し「入」に設定してください。



フレームレートの設定

24P (23.98P) で収録する場合：

「MENU：その他機能」の「フレームレート」を「24P」に設定してください。



プルダウンフラグ設定

「MENU：TC/UB設定」の「User Bit：Outputモード」に選択し、「プルダウン」に設定してください。

※フレームレートが60i、PF30の場合は、固定値(デフォルト)に設定します。



※この設定により、プルダウンのフラグを出力することができます。

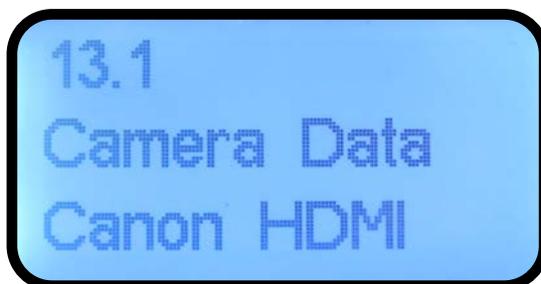
Ki Pro の設定（ファームウェア ver4.1 以降）

入力ソースの設定

本体のCONFIGボタンを押して、SELECTボタンで「2.1 Video Input」を選択、ADJUSTボタンで「HDMI」に設定してください。続いて、「2.2 Audio Input」を任意のソースに設定、「8.0 T.C. In」を「HDMI」に設定してください。

カメラ メタデータの設定

「13.1 Camera Data」を選択し、ADJUSTボタンで「Canon HDMI」に設定してください。



収録タイプの設定

SELECTボタンで「1.1 Record Type」を選択し、ADJUSTボタンで「VFR」に設定してください。

※フレームレートが60iの場合は「Normal」、PF30の場合は「PsF」に設定します。
※DF/NDFについては、カメラ側に依存するため、設定する必要はありません。

収録

本体のSTATUSボタンを押して、表示が右図のようになっているか確認します。

※フレームレートが60i、PF30の場合は、右図の2段目が「1080i 29.97」と表示されます



EOS C100のSTART/STOPボタンを押して、収録を開始するとKi Pro側も自動的に録画を開始します。

注：機材の設定やメディアフォーマットした後、最初に収録したファイルのみ、カメラ側とKi Pro側のタイムコードが異なる場合がありますので、必ずテスト撮影後に本番を行うよう心掛けてください。

注：Ki ProのCONFIGメニュー「13.1 Camera Data」が「Canon HDMI」に設定されている場合、Ki ProのRec. START/STOPはEOS C100側のトリガーにのみ反応します。Ki Pro本体のRecボタンは機能しません。（一瞬赤く点灯し、すぐに停止します）